

平成28年度「学力・学習状況」検証事業研究状況報告書(概要)

1 研究主題

「基礎的・基本的な知識や技能を身につけ、活用できる児童の育成」

2 研究の概要

(1) 児童の実態と課題

「全国学力・学習状況調査」の結果より

- ① 国語，算数の知識，活用に課題が見られる。
- ② 記述式の設問，国語「書くこと」に課題が見られる。
- ③ 正答数分布が，上位，下位の二山分布に近く，中位層が少ない。
- ④ 「家庭学習」「図書館の利用」「新聞購読」が少ない傾向がある。
- ⑤ 「自分で計画を立てて勉強」「宿題」「予習」「復習」等が苦手な傾向がある。
- ⑥ 授業に対して「本時のめあてが明確」「授業の終わりの振り返り」が不十分であると感じている児童が多い傾向がある。

(2) 学力向上のための取組

- ① 児童の学力傾向を把握した。年度初めに自校の傾向を共通理解し，学年の傾向を分析，把握した。また，「本時のめあてを明確にする」「授業の終わりに振り返りをする」「自分で考えさせ，書く時間を確保する」など指導の共通化を図った。
- ② 非正規な学力分布に対応するために，指導形態の工夫をした。（算数：全学年でT.Tまたは少人数指導を実施）※学習サポーターの活用
- ③ 基礎学力定着のために，毎朝15分のチャレンジタイムを設定した。  
月：読書，火：読書（読み聞かせ），水：漢字，計算，木：100マス作文  
金：漢字，計算
- ④ 学習に自主的，計画的に取り組む児童を育成するために，放課後学習教室「辰東小チャレンジクラブ」を実施した。  
内容：PCの活用による自主学習（基礎から応用まで，自分の興味や能力に  
応じて学習）※学習サポーターの活用
- ⑤ 「家庭学習の手引き」を作成，配付し，児童，保護者に周知した。また，手本となる自主学習ノートを随時紹介した。

3 成果と課題

(1) 成果

- ・授業研究を通して，授業力の向上を図ることができた。
- ・学習サポーターの活用，朝自習，放課後学習教室を通して，学習意欲の向上や基礎的な学力の定着を図ることができた。

(2) 課題

- ・授業研究を日頃の授業の改善につながるように，課題を明確にして取り組む。
- ・100マス作文や放課後学習教室の取り組み方に課題があるので改善を図る。